

試験場 コード						
受検番号						

[H]

## 数学① 記述式問題における解答結果の確認表

### 参考 <記述式問題解答結果の確認手順>

- 自分の記述した解答を、2～3ページの各設問の正答例をもとに正答か誤答かを判断しましょう。ただし、正答例は代表的なもののみ記載しているので、それ以外の解答は留意点を参考に判断しましょう。
- 下の〔確認欄〕には、次の場合に従って該当するものに○を付けましょう。
  - 正 答：自分の解答が正答であると判断した場合
  - 誤 答：自分の解答が誤答であると判断した場合
  - 無 解 答：答案用紙の解答欄に何も記述しなかった場合
  - 正誤の判断不能：正答例や留意点からは、自分の解答が正答か誤答かの判断ができなかった場合
  - 自分の解答不明：解答用紙に解答は記述したが、何を記述したか覚えていない場合

### 〔確認欄〕

第1問 [1] (あ)	正答	誤答	無解答	正誤の 判断不能	自分の 解答不明
第1問 [3] (い)	正答	誤答	無解答	正誤の 判断不能	自分の 解答不明
第2問 [1] (う)	正答	誤答	無解答	正誤の 判断不能	自分の 解答不明

注：本確認表は試行調査においては配付・回収しますが、大学入学共通テストにおいては試験当日に配付せず、ホームページ等で確認できるようにする予定です。

第1問 [1] (あ)

《正答例》  $\{1\} \subset A$

《留意点》

- 「 $\{1\}$ 」を, 「(1)」や「1」と記述しているものは誤答とする。

第1問 [3] (い)

《正答例 1》  $x \tan 33^\circ \leq 18$

《正答例 2》  $26 \leq x \leq \frac{18}{\tan 33^\circ}$

《留意点》

- 「 $\leq$ 」を「 $<$ 」と記述しているものは誤答とする。
- $33^\circ$ の三角比を用いずに記述しているものは誤答とする。

第2問 [1] (う)

《正答例 1》 時刻によらず,  $S_1 = S_2 = S_3$  である。

《正答例 2》 移動を開始してからの時間を  $t$  とおくと、移動の間におけるすべての  $t$  について  $S_1 = S_2 = S_3$  である。

《留意点》

- 時刻によって面積の大小関係が変化しないことについて言及していないものは誤答とする。
- $S_1$  と  $S_2$  と  $S_3$  の値が等しいことについて言及していないものは誤答とする。
- 移動を開始してからの時間を表す文字を説明なしに用いているものは誤答とする。
- 前後の文脈により正しいと判断できる書き間違いは基本的に許容するが、正誤の判断に影響するような誤字・脱字は誤答とする。

